

障害者に優先接種

名古屋市 64歳以下ワクチン

3.5.28 中日

名古屋市は二十七日、七月に始める六十四歳以下の市民向け新型コロナウイルスワクチン接種で、障害がある人に対し接種クーポンを優先的に早く送ることを決めた。障害者は、基礎疾患を持ち重症化リスクがある人が少なくないことから、希望に応じて早期接種が可能となるよう配慮する。

同市では、十六〜六十四歳の市民向け接種は七月から十二月にかけて実施する方針で、年齢層別に六月下旬から順次クーポン券を送付する。うち障害者手帳を持つ約六万人については、年齢層や基礎疾患の有無にかかわらず六月下旬から一斉にクーポン券を送り、希望者が早くに接種を受けられるようにする。

市議会名古屋民主市議団が二十七日に要望し、市側は「早急に取り組みたい」と答えた。

3.5.28 毎日

障害者手帳所持者 6万人優先予約

名古屋市方針

名古屋市は27日、新型コロナウイルスワクチン接種に関し、障害者手帳の所持者約6万

人の優先申し込みを受けける方針を明らかにした。国が優先順位の3番目に位置付けている「基礎疾患を有する人」のうち、市の把握情報を活用する。名古屋民主市議団の要望を受け、打ち出した。

障害者手帳の情報を基に、接種クーポンの先行発送や優先申し込みができる仕組みを早急に検討するよう要請

を受けた。市は「できるだけ早く、優先的に(クーポンを)出せたら」と答えた。6月中旬の発送開始を目指す。

民主は「子どもの居場所確保」に向け、保育園や幼稚園をはじめ小中学校や特別支援学校の職員へのワクチン早期接種も求めた。市はまず保育園や幼稚園の職員を対象にした優先接種を検討する考え。

【岡正勝】

市

会